

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	体育施設維持管理業務			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	坂井 竹志
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	スポーツ振興班	(内線)	1507
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	10	6	2	10851			コスト削減優先度評価結果	3

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
・中央運動公園G・総合運動公園・黒石公園G・みずき台G・みずき台テニスコート・泉ヶ丘テニスコート・栄G・合生G・上生G・泉ヶ丘体育館・栄体育館・妙泉寺体育館・西合志体育館・総合体育館・武道館・弁天山キャンプ場・合志小跡Gの維持管理

【業務の流れ】
・清掃委託、管理委託、機械警備委託、浄化槽管理委託、自家用電気工作物保守委託、学校開放管理委託、修繕業務に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務
・消耗品購入、支払事務及び運搬補充
・光熱水費、燃料及び電話代支払事務

【主な予算費目】
報酬 賃金 消耗品 光熱水費 施設修繕費 燃料費 印刷製本費 役員費 委託料 工事賃金 原材材料費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 上記【業務の内容】に記載した事務を行なった。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 上記【業務の内容】に記載した事務のほか、総合運動公園改修(2箇所)、合生グラウンドバックネット裏防球ネット設置工事などを行なう。
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 委託件数 件 イ 修繕件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 上記【事業の内容】に記載されている施設	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア スポーツ施設数 箇所 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 常に正しく安全に利用できる状態を保つ。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 苦情件数 件 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 活動する場がある	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習・スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移										
	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円				247	247		247
		地方債	千円		4,800					
		その他	千円	13,072	10,268	12,170	12,986	13,286		11,000
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	13,498	11,284	8,487	8,860	8,900	9,000		9,000
	(A) 事業費計	千円	26,570	26,352	20,657	19,846	22,433	20,247		20,247
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5		5
	延べ業務時間	時間	2,880	2,880	3,230	4,260	4,260	4,260	4,260	
	(B)人件費計	千円	11,434	11,462	12,855	16,955	16,955	16,955	16,955	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	38,004	37,814	33,512	36,801	39,388	37,202	37,202	
	活動指標	ア 件 イ 件	20 49	20 49	20 50	17 38	16 30	16 30	15 30	
	対象指標	ア 箇所 イ	14	14	15	15	15	17	17	
	成果指標	ア 件 イ	40	27	20	31	20	20	20	
	上位成果指標	ア % イ	72.9	74.5	74	75.1	74.5	75	22 年度	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
施設設置後、利用者が安全に、快適に利用できるように開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・年々施設の老朽化が進んでいる。
・平成22年度より農村広場・わんぱく広場が新たにスポーツ施設として加わることが、平成20年度中に関係各課との協議のなかで決定した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・照明不具合、グラウンド整備がされていない、トイレの破壊・落書き等の苦情
・総合運動公園テニスコートの近くにトイレを設置してほしい。
・野球場バッティングゲージ溶接破損箇所を修繕してほしい。
・野球場スコアボード時計を修繕してほしい。

事務事業名	体育施設維持管理業務	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の施設が常に正しく安全に利用できる状態を保つことにより、活動する場があるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市が管理する施設であり、安全面、利便性等を考慮しなければならないので市が行う事業であるとする。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 苦情が出る前に対応すれば、「成果」の「苦情件数」は減少する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 施設の安全性が保て無くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市の施設なので、市で維持管理するのが妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 利用団体による施設清掃ボランティアを検討したが、『ボランティア』の性質上、利用申請に便宜を図って『ボランティア』活動を行なってもらうのはおかしいと判断した。数団体が年に1度ボランティア作業を行なっているので、そうした活動が他団体に自然に広がっていくことを期待している
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 委託できる業務についてはすべて委託している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 受益者が負担している金額(使用料)が適切な額であるかどうか見直しが必要である

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、苦情が出る前に対応すれば、「成果」の「苦情件数」は減少する。 ④公平性については、受益者が負担している金額(使用料)が適切な額であるかどうか見直しが必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 有効性改善・・・施設管理委託しているシルバー人材センタースタッフからの施設管理連絡を徹底するとともに、週に一度は施設開閉用鍵の回収に職員が施設を巡回するので、その時に安全確認を行うようにする。 公平性改善・・・使用料の改定を行う必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

使用料改定については、他市町の使用料を参考にだけでなく、適正な使用料設定について維持管理費の状況を考慮して検討する必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)